

国および山形県における治水対策の取組状況について

令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生した事を踏まえ、被災した箇所で、様々な対策を集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、最上川からの氾濫を防止し、流域における浸水被害の軽減を図ります。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 (ハード対策)

- ・河道掘削、堤防整備、分水路整備、遊水地改良、災害復旧 等

全体事業費 約656億円
事業期間 令和2年度～令和11年度

■ 氾濫対象を減少させるための対策 (流域における対策)

- ・土地利用規制(災害危険区域等)
- ・雪対策と連携した住宅の高床化への支援等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 (ソフト施策)

- ・マイタイムラインの普及促進
- ・まるごとまちごとハザードマップの促進等

令和2年7月豪雨を踏まえた

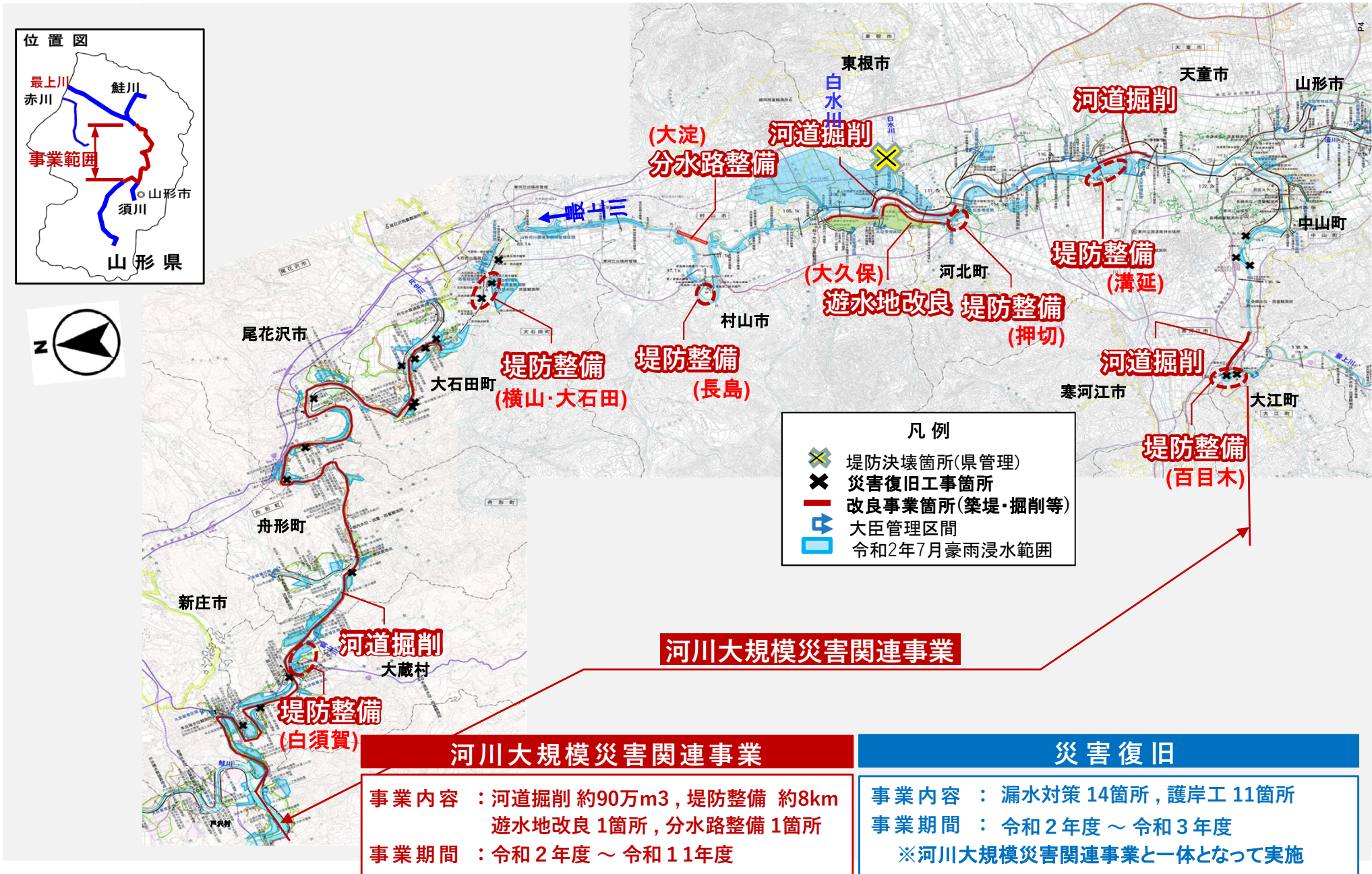
最上川中流・上流

緊急治水対策プロジェクト



令和3年1月29日策定

最上川流域治水協議会



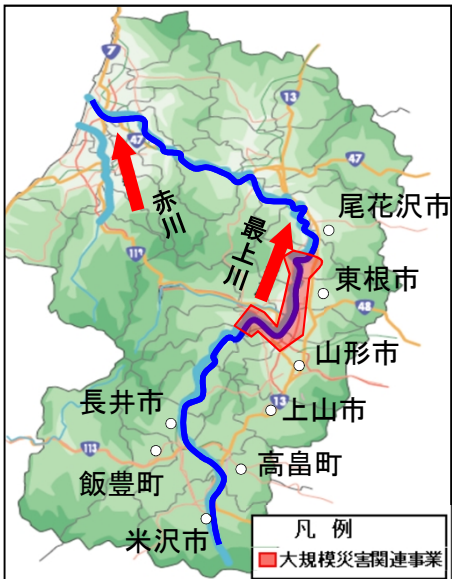
出典：最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト

最上川上流大規模災害関連事業

～令和2年7月豪雨の治水対策～

山形河川国道事務所

令和5年1月31日時点



施工状況

長島地区堤防整備



特殊堤施工状況

河道掘削	大淀分水路整備	大久保遊水地改良	長島地区堤防整備	押切地区堤防整備	溝延地区堤防整備	百目木地区堤防整備
8	3	3	8	7	3	3

1 プロジェクトの説明

現場調査のために地域の皆様へプロジェクトの説明を行います。現場調査の協力をお願いします。



2 測量・地質調査

堤防などの設計に必要な資料の収集・測量・調査を行います。



3 堤防などの設計

収集した資料や測量図面を元に堤防などの設計を行います。



4 設計内容の説明

地域の皆様へ堤防などの設計内容や用地取得に関する説明を行います。



5 用地幅杭設置

設計に基づき堤防などの工事に必要な用地の範囲を示す杭を打設します。



6 用地・物件の調査

堤防などに必要な用地、建物などの調査を行い、所有者立ち合いのもと、用地境界等の確認を行います。



7 補償の説明・契約

用地・物件調査結果をもとに所有者の皆様へ補償内容の説明を行い、契約締結後、補償金の支払いを行います。



8 工事

設計に基づき堤防などの工事を行います。



9 完成

皆様の協力によって堤防などができあがります。



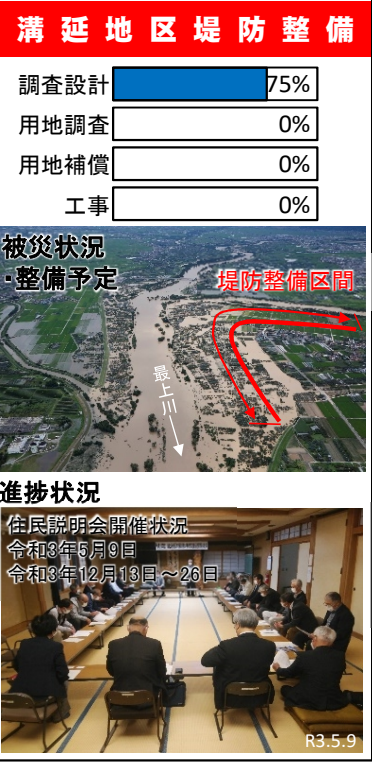
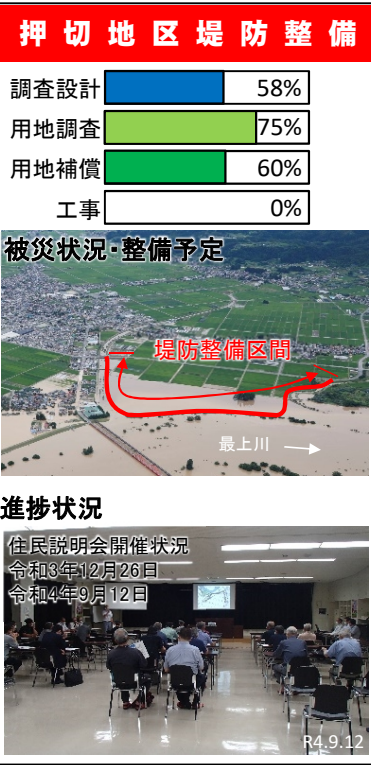
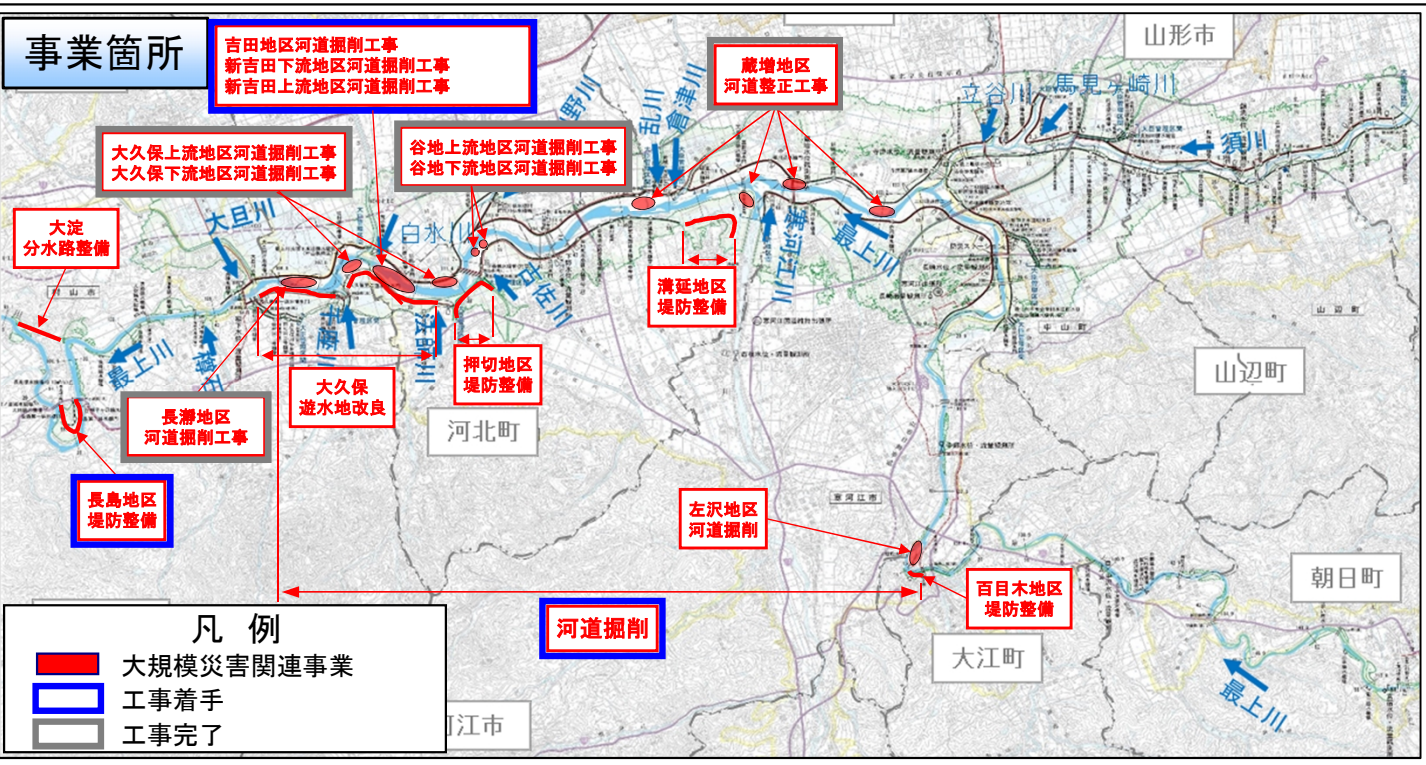
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
河道掘削	河道掘削工事									
大淀分水路整備	設計			用地		分水路整備				
大久保遊水地改良	設計		設計・用地		大久保遊水地改良					
長島地区堤防整備	堤防整備									
押切地区堤防整備	設計		設計・用地		堤防整備					
溝延地区堤防整備	設計		用地		堤防整備					
百目木地区堤防整備	設計		設計・用地		堤防整備					

※ 現時点の予定であり、今後の事業進捗によって変更となる場合があります。



～計画に関する問い合わせ～
山形河川国道事務所 工務第一課 TEL : 023-688-8929

～工事に関する問い合わせ～
山形河川国道事務所 寒河江出張所 TEL : 0237-86-3069

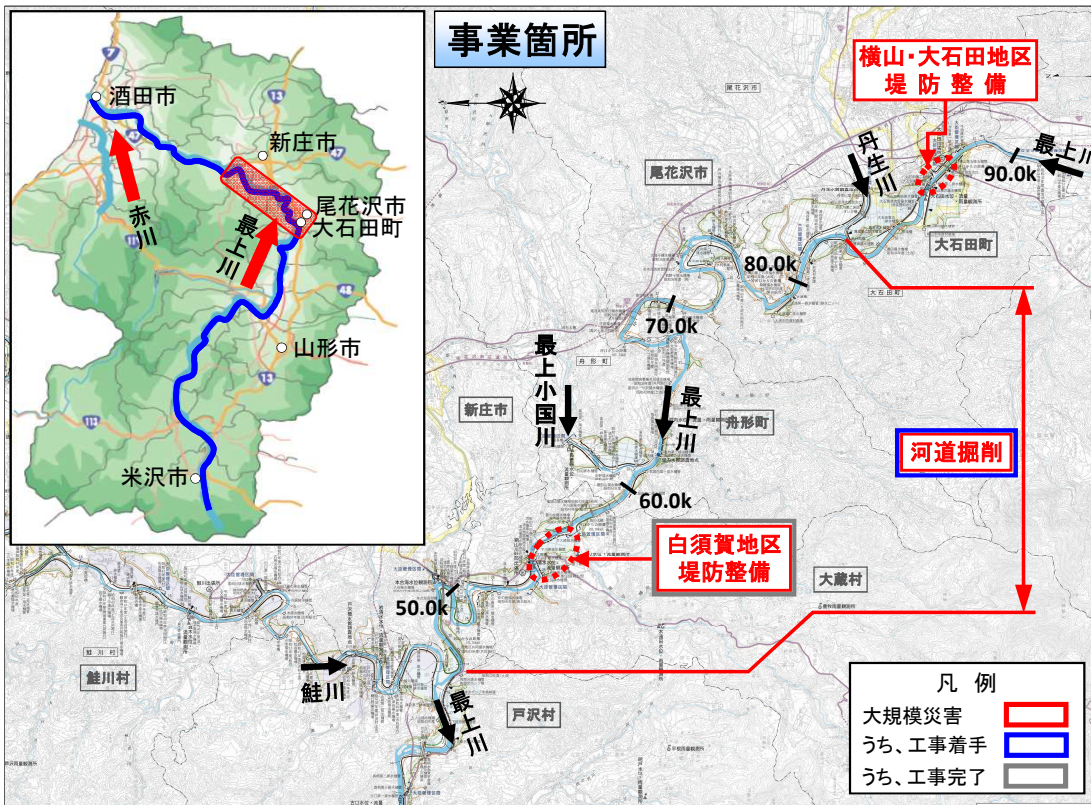


最上川中流大規模災害関連事業

～令和2年7月豪雨の治水対策～

新庄河川事務所

令和5年1月31日現在



大規模災害関連事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
河道掘削		設計	河道掘削							
白須賀地区堤防整備		堤防整備	完了							
横山・大石田地区堤防整備		設計		用地			堤防整備			

※現時点での予定であり、今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

河道掘削	白須賀地区堤防整備	横山・大石田地区堤防整備
8	9	3

1 プロジェクトの説明

現場調査のために地域の皆様へプロジェクトの説明を行います。現場調査の協力をお願いします。



2 測量・地質調査

堤防などの設計に必要な資料の収集・測量・調査を行います。



3 堤防などの設計

収集した資料や測量図面を元に堤防などの設計を行います。



4 設計内容の説明

地域の皆様へ堤防などの設計内容や用地取得に関する説明を行います。



5 用地幅杭設置

設計に基づき堤防などの工事に必要な用地の範囲を示す杭を打設します。



6 用地・物件の調査

堤防などに必要な用地、建物などの調査を行い、所有者立ち合いのもと、用地境界等の確認を行います。



7 補償の説明・契約

用地・物件調査結果をもとに所有者の皆様へ補償内容の説明を行い、契約締結後、補償金の支払いを行います。



8 工事

設計に基づき堤防などの工事を行います。



9 完成

皆様の協力によって堤防などができあがります。



新庄河川事務所

新庄河川事務所
新庄河川事務所

～計画に関する問い合わせ～

工務第一課

TEL : 0233-22-0254

～工事に関する問い合わせ～

最上南部流域治水出張所
大石田出張所

TEL : 0233-75-2204
TEL : 0237-35-2024

横山・大石田地区堤防整備

調査設計 27%

用地調査 0%

用地補償 0%

工事 0%



第3回住民説明会状況 (R4.10.31)



着手前状況
(横山・大石田地区)

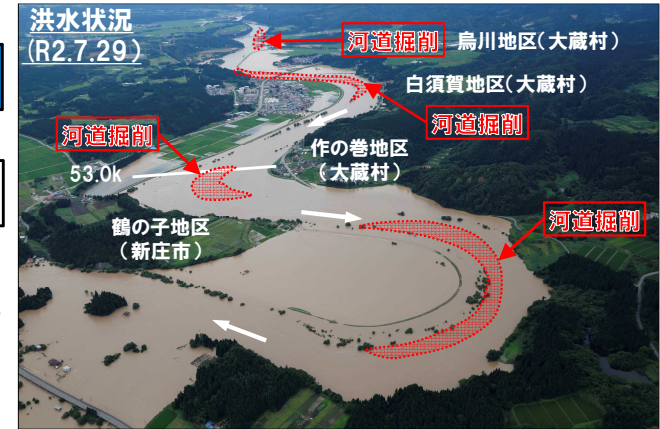


河道掘削

設計 100%

工事 45%

掘削量 : 300千m³ / 654千m³



《清水地区》

着手前状況

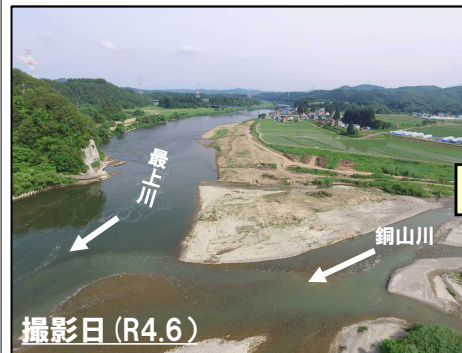


施工状況



《烏川地区》

着手前状況



施工状況



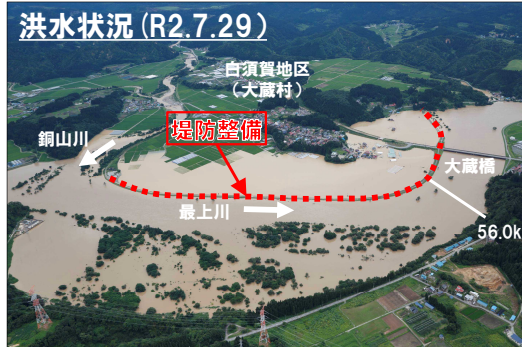
白須賀地区堤防整備

設計 100%

工事 100%

盛土量 : 19千m³ / 19千m³

施工状況



完成状況



県の治水対策の取組状況

山形県

【R2.7豪雨】 1 復旧の取組み（公共土木施設災害復旧の状況）

（1）公共土木施設災害の状況

令和2年7月豪雨による県土整備部が所管する「公共土木施設災害復旧事業※」の実施箇所数は、**327か所**で工事費は**約79億円**

※公共土木施設災害復旧事業とは、大雨などの異常気象により被災した施設を国庫負担を得て原形に復旧する事業

（2）災害復旧事業の進捗状況

令和4年12月末までに、320か所で工事が完了、残りの7か所も**今年度に完了**予定

銅山川（大蔵村肘折）



応急工事後(R2.10.6)



工事完了(R3.9.1)

R2.7月豪雨による県土整備部所管施設の被害・復旧数

	被災箇所数	完了箇所数	備考
河川	244	242	R4年度内完了
砂防	4	4	完了
道路	77	72	R4年度内完了
橋梁	2	2	完了
計	327	320	

本沢川（山形市長谷堂）



被災状況(R2.7.29)



応急工事後(R3.8.6)



工事完了(R3.5.1)

【R2.7豪雨】 2 治水対策の取組み

(1) 令和2年7月豪雨の浸水被害の状況

最上川本川で9か所、
県管理河川では67か所
で浸水被害が発生



R2年7月豪雨の状況(月布川[大江町])

(2) 県の治水対策の取組状況

① 河川整備による再度災害防止

令和2年7月豪雨と同規模の洪水等に対し浸水被害の解消を図ることを目標として、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算」を活用し、概ね**10年間(令和2年度～11年度)で35河川(右図)、約500億円規模の河川整備を集中的に実施**

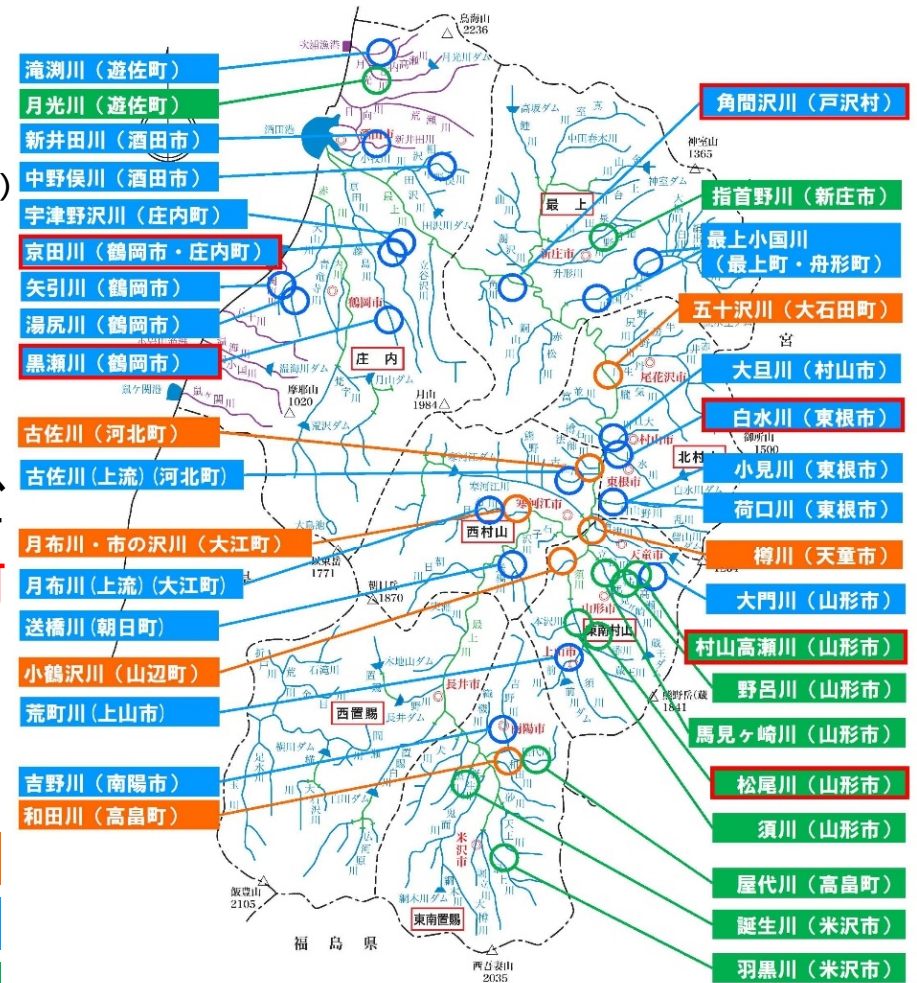
① 7月豪雨で家屋浸水等の被害が発生した河川(R3調査着手→新規事業)

② 7月豪雨を含む近年の洪水により浸水被害が発生した河川(継続事業)

③ 沿川に住宅地が多く浸水被害が想定される河川(継続事業)

県管理河川の被害総数(要因別)

被害要因	被害総数
バックウォーター	15
内水氾濫	10
現況流下能力超過	42
合計	67



□ : R4～R5完了河川(6河川)

村山高瀬川、松尾川、白水川、角間沢川、京田川、黒瀬川

【R2.7豪雨】 2 治水対策の取組み

❖ 令和4年度からの新規事業箇所
 令和2年7月豪雨で浸水被害が発生した古佐川や和田川など、
 6か所7河川で今年度事業着手。



古佐川(河北町)



和田川(高畠町)

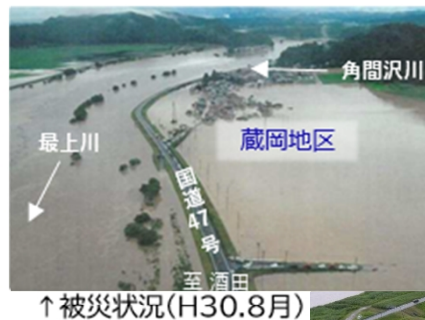


R4新規事業箇所(6か所7河川)

❖ 令和4年度に整備効果発現が見込まれる主な箇所

角間沢川 (戸沢村蔵岡)

- 平成30年8月、2度の浸水被害が発生
- 国土交通省、戸沢村と連携し、輪中堤を整備



↑被災状況(H30.8月)

【被災状況(H30.8月)】

H30.8. 5~ 6 床上浸水9戸、床下浸水75戸
 H30.8.30~31 床上浸水2戸、床下浸水20戸



輪中堤整備状況 (R4.7月)



築堤工事で「ICT施工」を実施、工期短縮等により生産性向上

【R2.7豪雨】 2 治水対策の取組み

大旦川 (村山市河島 外)

- 最上川水位上昇に伴い大旦川水門が閉鎖し、浸水被害が発生
- 令和4年度末に調節池が一部完成予定

【被災状況(R2. 7月)】
 浸水面積406ha
 床上浸水28戸、床下浸水11戸



被災状況(R2.7月)

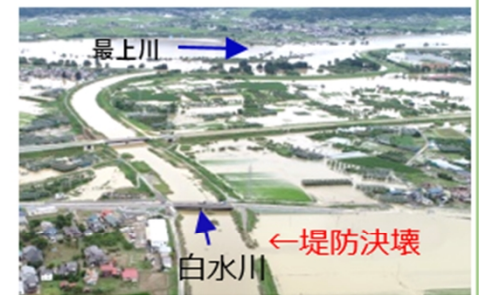


施工状況 (R4.11月)

白水川 (東根市松沢 外)

- 最上川のバックウォーターで堤防決壊し、浸水被害が発生
- 令和4年度末に堤防復旧・嵩上げが完成予定

【被災状況(R2. 7月)】
 浸水面積220ha
 床上浸水5戸、床下浸水20戸



被災状況(R2.7月)

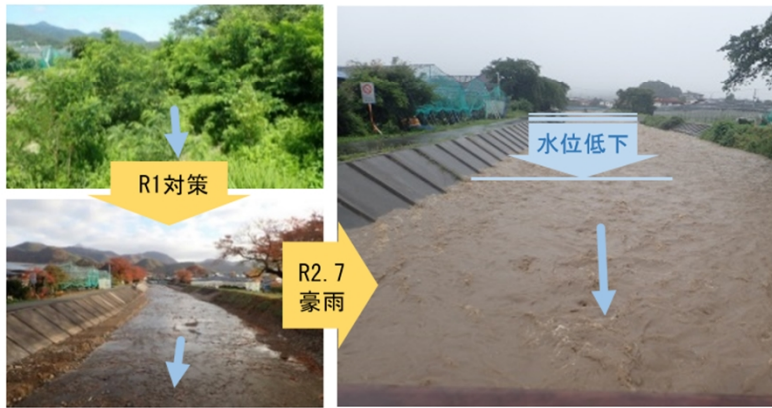


施工状況 (R4.10月)

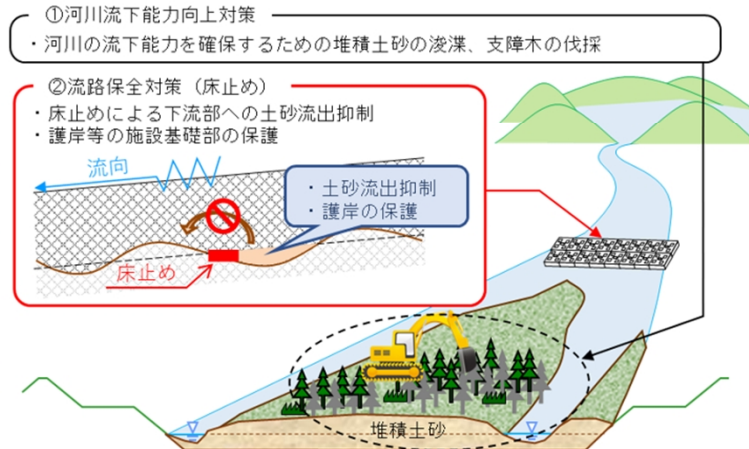
【R2.7豪雨】 2 治水対策の取組み

流下能力の確保対策(河川流下能力向上・持続化対策事業(令和4年度～7年度))

- ▶ 平成24年度から、堆積土砂や支障木の撤去を実施し、氾濫を防ぐ効果を発揮
- ▶ 令和4年度から、下流への土砂流出対策などを加え、令和7年度までの4か年で集中的な対策を実施



取組み事例(堆積土砂の浚渫・支障木の伐採)



「河川流下能力向上・持続化対策計画」の概要イメージ

堤防の強靱化対策

- ▶ 河川堤防の決壊を防止するため、堤防補強(アスファルト舗装や法肩ブロックの設置)を実施
- ▶ これまでに約47kmの堤防補強を実施(令和4年5月末時点)、継続して強靱化対策を実施



堤防強靱化実施状況(升形川[新庄市])

わかりやすい河川情報の発信

- ▶ スマートフォン画面対応による「河川・砂防情報システム」の利便性の向上(令和3年4月) <パソコン画面>



スマートフォン画面運用のイメージ

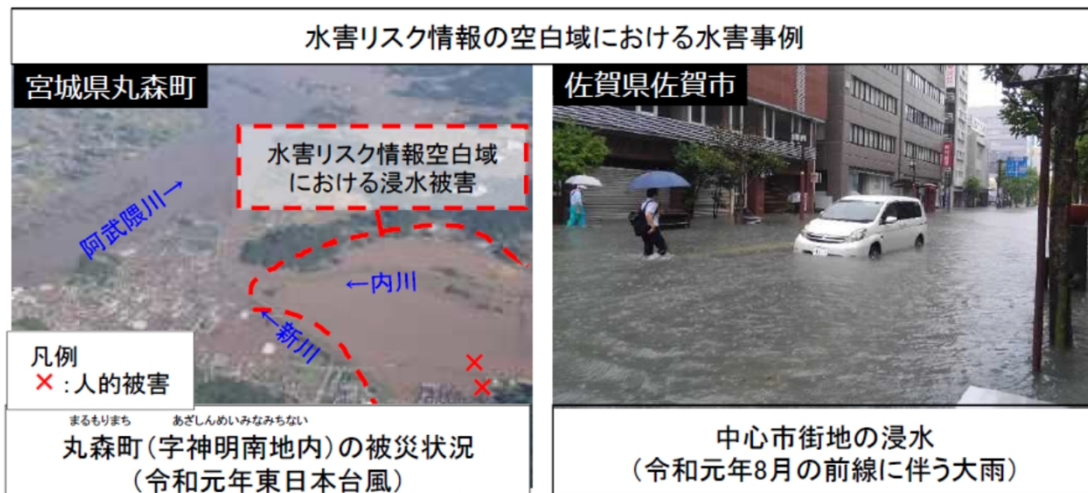
【R2.7豪雨】 3 今後の対応 ～浸水想定区域図の空白域の解消～

R4国土交通省水管理・国土保全局関係 予算概要より抜粋

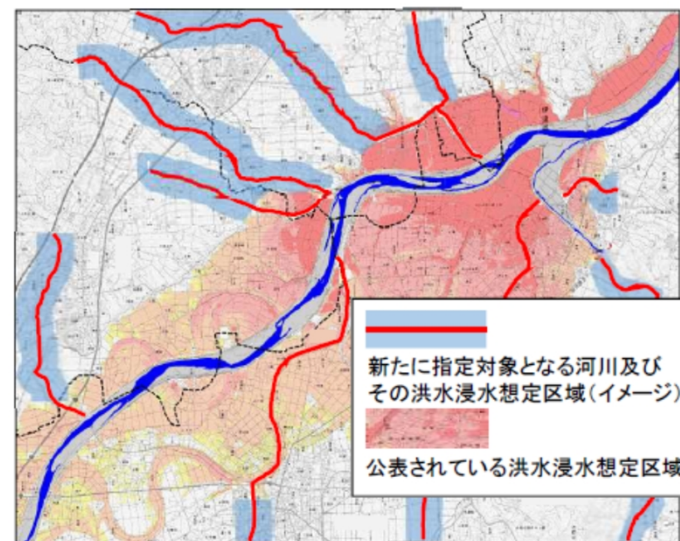
- ・近年、中小河川等の水害リスク情報の提供を行っていない水害リスク情報の空白域で多くの浸水被害が発生。
- ・水害リスク情報の空白域を解消するため、R3水防法を改正し、浸水想定区域図及びハザードマップの作成・公表の対象を全ての一級・二級河川に拡大。
- ・洪水浸水想定区域図は令和7年度までに完了を目指す。

■水害リスク情報の空白域において浸水被害が多発

- ・令和元年東日本台風では、堤防が決壊した71河川のうち43河川(約6割)、内水氾濫による浸水被害が発生した135市区町村のうち126市区町村(約9割)が水害リスク情報の空白域。



■浸水想定区域の指定対象を拡大



指定対象河川の拡大イメージ

	浸水想定区域図	ハザードマップ
河川 (洪水)	令和7年度までに完了※ 住宅等の防護対象のある中小河川	令和8年度までに完了目標

山形県の対応

- ・洪水予報河川、水位周知河川においては、H28～R1に70河川で作成済み。
- ・その他河川については、国の目標に合わせて令和7年度完了を目指す。

【R4.8豪雨】 1 復旧の取組み（河道掘削等、災害復旧）

支川における対策

河道掘削等

※山形県内全て

- 緊急浚渫推進事業債 : 約 6億円
- 緊急自然災害防止事業債 : 約27億円

1. 目的

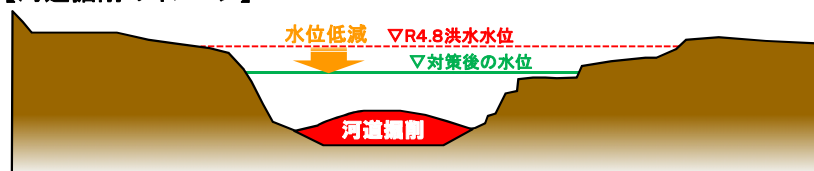
- ・支川の河川水位を低下させるため、河道掘削を実施。
- ・出水による堆積土砂を撤去し、流下能力を確保する。

2. 取組

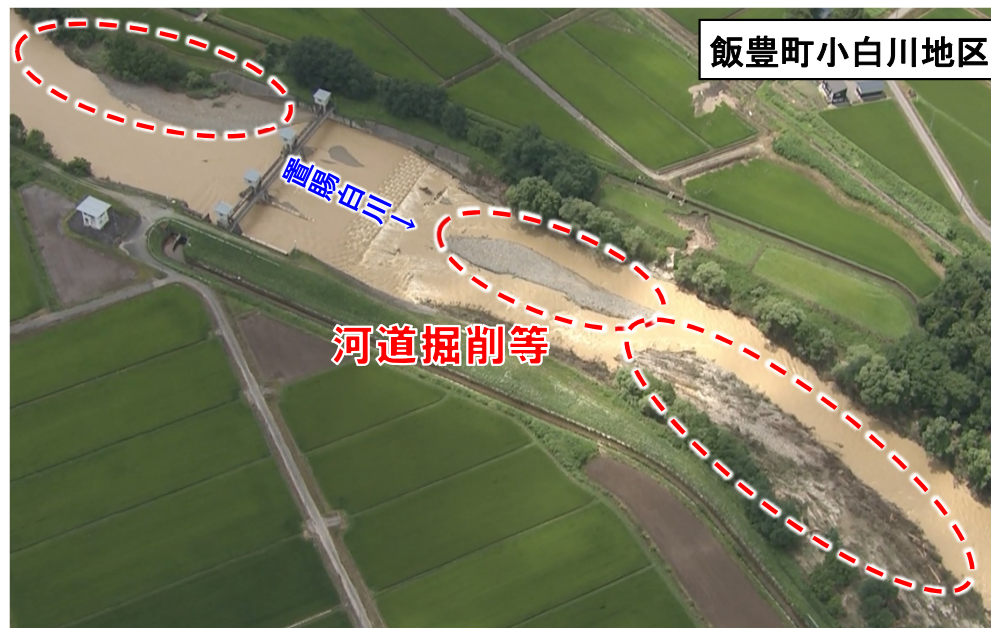
置賜白川や元宿川など、県が管理する支川の河道掘削等を実施する。

事業期間：令和4年度～令和5年度

【河道掘削のイメージ】



※河道掘削の位置等は、今後の詳細検討により決定します。



災害復旧

※山形県内全て

- 災害復旧事業 : 約47億円、129箇所

1. 目的

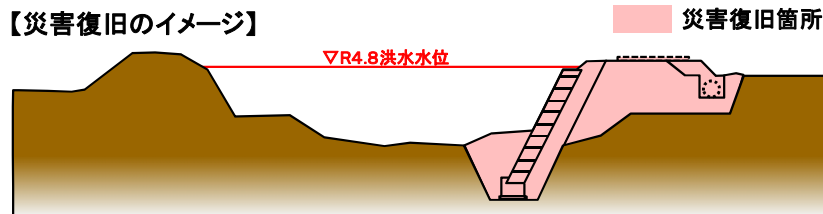
豪雨に伴い被災した河川管理施設（護岸、護床など）の早期復旧を図る。

2. 取組

犬川や置賜白川など、県が管理する支川において、災害復旧を実施する。

事業期間：令和4年度～令和6年度

【災害復旧のイメージ】



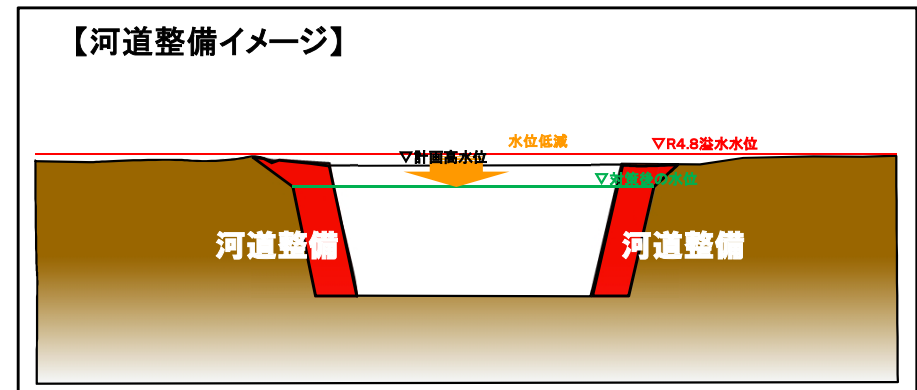
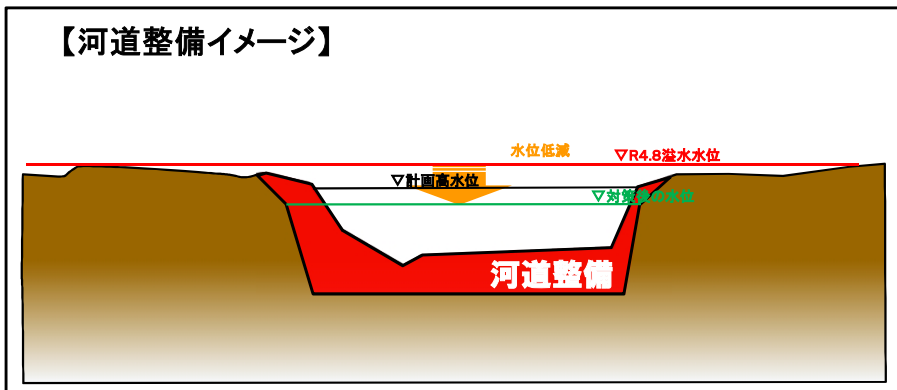
【R4.8豪雨】 1 復旧の取組み（災害復旧（河道整備））

最上川の支川における対策（県）

災害復旧（河道整備）

※小白川、萩生川（飯豊町）
○災害復旧（河道整備）事業：約31億円

- 原形復旧のみでは事業効果が限定されることから、河道拡幅や河床掘削等の災害復旧（河道整備）を行うことで流下能力を向上させ、再度災害防止を図る。
- 事業期間：令和4年度～令和7年度



【R4.8豪雨】 2 治水対策の取組み

この度、令和4年8月豪雨の被害を踏まえ、置賜地域において洪水時の河川状況の把握や水害リスクの周知等を目的として、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラを設置。

- 危機管理型水位計 : 黒川(川西町黒川)、萩生川(飯豊町萩生)、小白川(飯豊町小白川) … R4.9.30運用開始
- 簡易型河川監視カメラ: 荒川(小国町越中里)、荒川(小国町若山) … S5.1.4運用開始
萩生川(飯豊町萩生)、小白川(飯豊町小白川) … R5.1.27運用開始

黒川(川西町)	萩生川(飯豊町)	小白川(飯豊町)	荒川(小国町)
<p>被災状況</p> 	<p>被災状況</p> 	<p>被災状況</p> 	<p>被災状況</p> 
<p>水位計設置状況</p> 	<p>水位計設置状況</p> 	<p>水位計設置状況</p> 	<p>カメラ画像</p> 
	<p>カメラ画像</p> 	<p>カメラ画像</p> 	<p>カメラ画像</p> 

危機管理型水位計の概要

■目的

洪水時の水位観測に特化した低コスト型水位計を広く設置し、これまで水位計が無かった河川や細やかな水位把握が必要な河川等における水位観測網の充実を図り、住民の避難行動や自治体の避難勧告等の判断基準等に資する。

■主な経緯

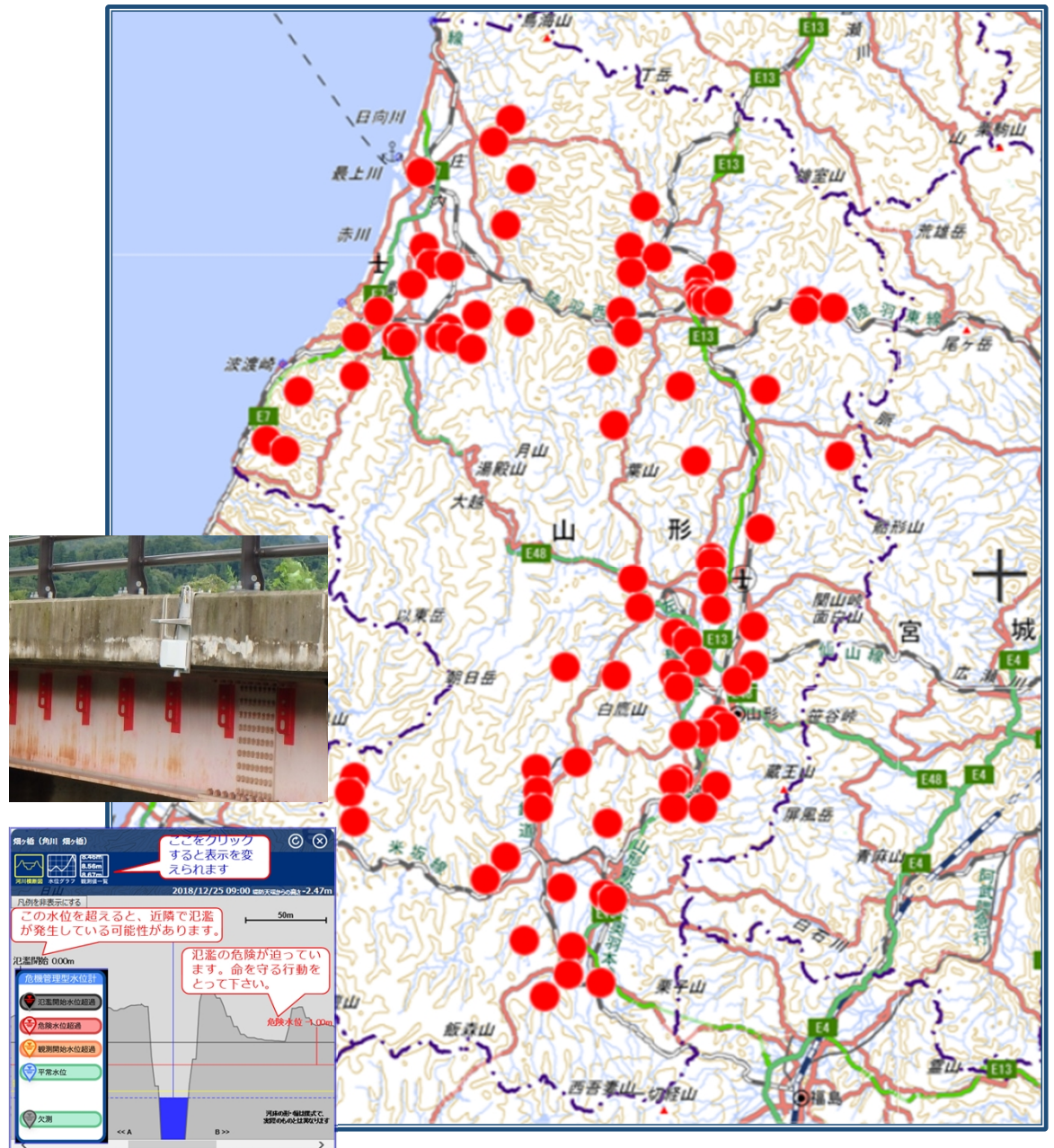
- ・H30.11月の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づき、簡易型河川監視カメラの設置が全国的に推進
- ・本県ではH30年度に85基を設置、H31.4月より運用開始

■設置箇所選定の考え方

- ・既存水位計の受け持ち区間が長く、補完が必要な河川
 - ・役場等の重要施設が近接
 - ・DID地区(市街地)等を貫流
- ・直轄の背水対策に課題のある河川 など

水位計の設置台数(R4.10月現在)

総合支庁		設置台数	
		危機管理型水位計	従来型水位計
村山	本庁舎	18基	20基
	西庁舎	7基	3基
	北庁舎	4基	15基
最上		18基	12基
置賜	本庁舎	9基	15基
	西庁舎	9基	4基
庄内		23基	31基
合計		88基	100基



簡易型河川監視カメラの概要

- 出水時にリアリティーのある洪水状況を画像として住民と共有し、適切な避難判断を促すため、新たに簡易型河川監視カメラ※91基を令和元年度に設置（R5.1現在96基）
- 最新の画像を河川情報センターが運営する「川の防災情報」のホームページで公開開始（令和2年4月1日運用開始）
- 簡易型河川監視カメラの増設に関して今後検討予定

※ 機能を限定することにより 低コスト化を図ったもので、一定間隔で静止画像を撮影し、LTE回線などの無線通信で伝送するもの



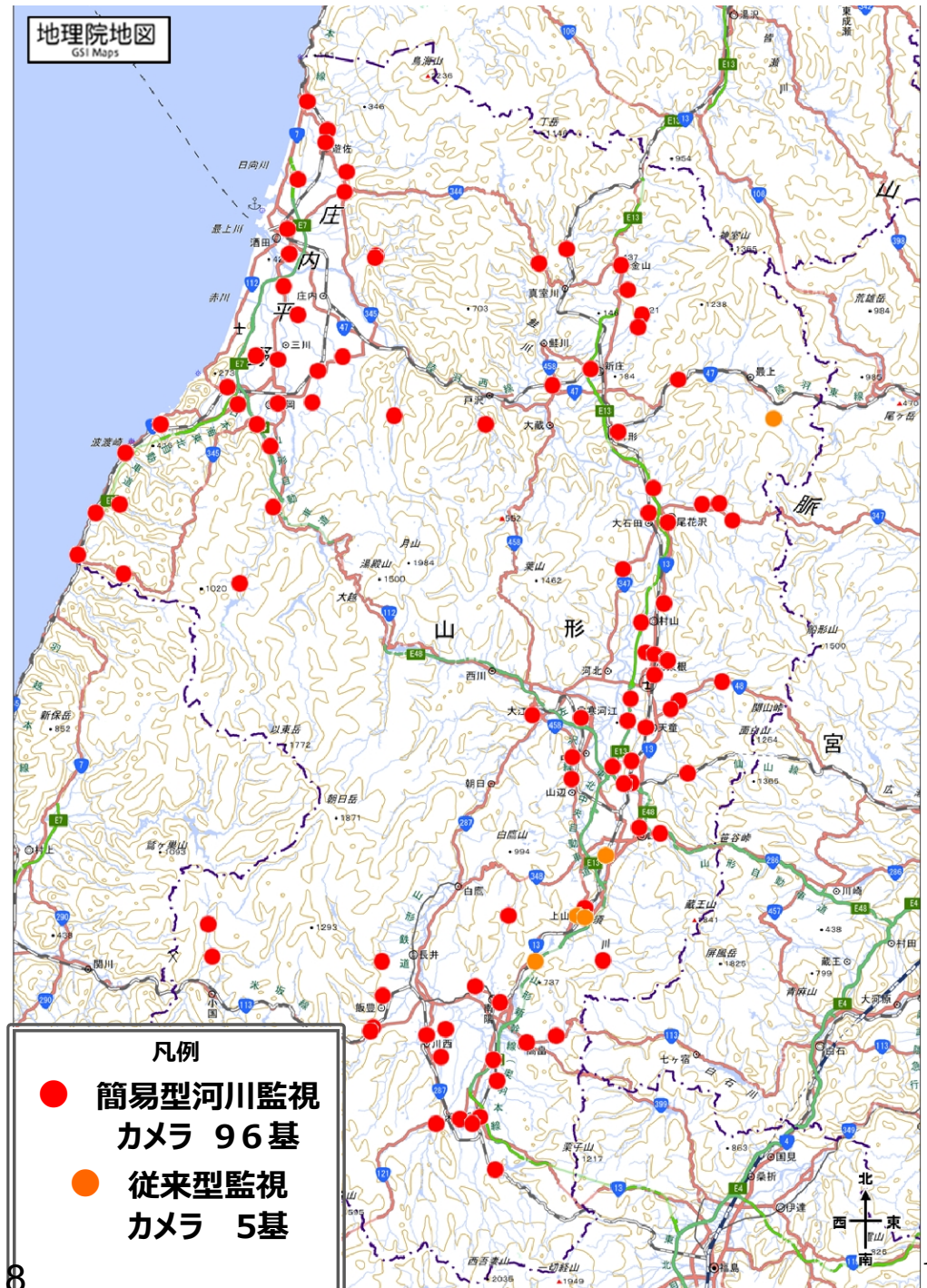
▲ 試験画像（左：昼間 右：夜間）

R5.1月 現在

総合支庁		設置台数	
		簡易型河川監視カメラ	従来型監視カメラ
村山	本庁舎	16基	4基
	西庁舎	2基	
	北庁舎	15基	
最上		11基	1基
置賜	本庁舎	15基	
	西庁舎	6基	
庄内		31基	
合計		96基	5基



設置した簡易型河川監視カメラ



報道機関各位

令和5年2月6日
農林水産部

山形県田んぼダム推進情報連絡会（第2回）の開催について

近年、豪雨災害が激甚化・頻発化している状況を受け、県内では河川流域の全ての関係者が協働で取り組む「流域治水」が推進され、水害を軽減する取組みが進められています。

県では、その一環として、水田の雨水貯留機能を活用し、洪水の流出時間を遅らせる「田んぼダム」の推進に取り組んでおり、今年度から活動団体や関係行政機関で構成する情報連絡会を設置して、効果の検証や情報発信を行っています。

このたび、今年度第2回の山形県田んぼダム推進情報連絡会を下記のとおり開催いたします。ぜひ取材くださるようお願いいたします。

記

- 日時 令和5年2月13日（月） 10時～12時
- 会場 タスパークホテル（長井市館町北6-27 電話0238-88-1833）
- 内容
 - 田んぼダム貯留機能効果の検証結果について
 - 全国及び県内の取組事例集の作成について
 - 今後の予定について
 - 意見交換 等
- 参集者
 - 活動団体：NPO法人みさと田園空間クリエイターズ（天童市）、塩野地域資源保全会（新庄市）、野川地域農地・水・環境保全組織（長井市）、農地・水・環境保全組織いなばエコフィールド協議会（鶴岡市）
 - 行政機関等：置賜管内の8市町、東北農政局、山形県、山形県土地改良事業団体連合会
 - オブザーバー：新潟大学農学部 宮津助教
- その他
会場内に記者席を用意しますので御利用ください。

（田んぼダムとは）

水田に雨水が貯留される機能を活用し、下流域などの湛水被害リスクを低減する取組み。

水田の落水口に、流出量を抑制する穴の開いた調整板など取り付けることで、水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えて溢れる水の量や範囲を抑制するもの。

【問合せ先】

農村整備課 農村防災・災害対策主幹
安達 邦明 電話 023-630-2157
報道監 農林水産部次長 森谷 健

田んぼダム事例集

全国 及び 山形県内 で取り 組まれている先進的な事例

令和5年2月
山形県田んぼダム推進情報連絡会

目次

1 全国の取組事例

- ①岩見沢南地域資源保全協力会
..... P6
- ②宮城県 P7
- ③福島県 P8
- ④郡山市・河内故郷つくる会
..... P9
- ⑤白根郷土地改良区 P10
- ⑥見附市 P11
- ⑦鯖江市 P12
- ⑧思川西部農村環境保全会
..... P13
- ⑨鳥取県 P14
- ⑩熊本県 P15

2 山形県内の取組事例

- ⑪観音寺保全会(酒田市) P16
- ⑫成興野地域資源保全会(酒田市)
..... P17
- ⑬いなばエコフィールド協議会(鶴岡市)
..... P18
- ⑭ 同上 (鶴岡市) P19
- ⑮ 同上 (鶴岡市) P20
- ⑯塩野地域資源保全会(新庄市)
..... P21
- ⑰みさと田園空間クリエイターズ
(天童市) P22
- ⑱最上堰広域活動組織(中山町) .. P23
- ⑲山形県[漆山地区](南陽市)..... P24
- ⑳野川地域農地・水・環境保全組織
(長井市) P25